

東北町過疎地域持続的発展計画(案)に対する パブリックコメントの実施結果と町の考え方

東北町過疎地域持続的発展計画の策定にあたり、策定段階の素案を公表し、意見等の募集(パブリックコメント)を行いました。その募集結果と提出された意見等に対する町の考え方をお知らせいたします。
このたびは、貴重なご意見をいただきまして大変ありがとうございました。
なお、お寄せいただいたご意見等は、その内容を要約して掲載しておりますので、何卒ご了承ください。

(1)パブリックコメントの実施結果

募集案件	東北町過疎地域持続的発展計画(案)に対する意見募集		
意見等の募集期間	令和8年4月10日(金)から令和8年4月23日(木)		
意見等の提出者数	1名		
意見等の件数	6件		
意見等に対する 取扱区分	修正	意見等を参考に素案の修正に反映したもの	1件
	参考	素案に対する意見として、今後の参考とするもの	2件
	その他	その他の感想や提言等として、今後の参考とするもの	3件

(2)お寄せいただいた意見・提案等の内容及び町の考え方

NO	該当項目等	意見・提案等の内容	町の考え方	取扱区分
1	10 地域文化の振興等	<p>「郷土芸能保存会支援事業」等の文化事業を「町の基盤資本」として再定義。</p> <p>町に代々受け継がれてきた祭りや郷土芸能は、地域住民の繋がりを強くするだけでなく、町を一つの生命体として呼吸させる「町の心音（文化資本）」そのものです。この「目に見えない資本」に対する投資こそが、結果的に地域コミュニティの安定を生み、移住・定住の促進に寄与することから、本計画の上位の文脈として明確に位置づけした方が良いと思います。</p>	<p>郷土芸能をはじめとする地域文化の継承・保存は、本町の魅力形成や地域コミュニティの維持に重要な役割を担うものであり、その価値は重要なものであると認識しております。</p> <p>本計画においても、地域資源や伝統文化を生かした地域づくりを推進することとしており、今後も関係団体等と連携しながら、文化活動の継承及び地域活性化に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>また、ご提案された内容について、地域文化の振興が移住・定住の促進に結びつくことから、ご提案を参考に『1 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成』の項目に「郷土芸能」の文言を追加して修正を行います。</p> <p>郷土芸能保存会支援事業については、計画書の施策項目体系により、そのままの項目として位置付けすることといたしますが、その他の項目に記載している事業計画と同様に重要事業として進めていきたいと考えております。</p> <p>【修正予定】 『1 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成』 その対策 ⑨地域の活力あるまちづくりを推進するため、受け継がれてきた祭りや郷土芸能、各地域のイベントやコミュニティ活動を継続させながら、若い世代を含めた多世代が多様な活動に参加し交流を深め活躍できる環境づくりを進める。</p>	修正

NO	該当項目等	意見・提案等の内容	町の考え方	取扱区分
2	—	<p>各施策や事業を検討する際には、単年度的な視点ではなく、「将来の住民像や地域のあり方に合致しているか」という“未来基準フィルター”の考え方を取り入れ、10年後の東北町が目指す住民像の未来基準との整合性を確認する仕組み（フォーマット）づくりを行うとともに、事業の必要性や優先度を判断し、個別の見解のみならず、全庁で建設的な対話のもと、庁内で共通認識を持って施策を推進する必要があると思います。</p>	<p>本計画の推進にあたっては、町の現状や地域課題、住民ニーズを見据えながら、各施策及び事業の効果や必要性を踏まえ事業の推進に努めてまいります。</p> <p>また、持続可能なまちづくりの実現に向け、関係部署間での情報共有や連携を図りながら、中長期的な視点による施策展開を進めてまいります。</p> <p>なお、事業の検討・評価に関する考え方や庁内運営のあり方につきましては、貴重なご意見を参考に今後の行政運営及び計画推進に取組んでまいります。</p>	参考
3	—	<p>本計画の推進にあたっては、既存の庁内会議を活用しながら、各部署が施策を検討する際に「他部署との関連性」「重複事業の有無」「将来の住民像との整合性」などを確認するルールを設け、横断的な連携を強化すべきと考えております。</p> <p>また、個別的な対応に依存しない、組織全体として地域課題の解決に取り組む体制づくりが必要であり、結果として「揺れない行政運営」と「実務の効率化」が図られると思います。</p>	<p>本計画の推進にあたっては、各施策を効果的かつ効率的に実施するため、関係部署間の連携及び情報共有を図りながら、横断的な視点による施策推進に努めてまいります。</p> <p>また、庁内会議等を活用し、関連施策との整合性や事業効果等を共有しながら、地域課題の解決に向けた連携強化を図ってまいります。</p> <p>なお、会議運営や庁内調整のあり方につきましては、貴重なご意見を参考に今後の行政運営及び計画推進に取組んでまいります。</p>	参考

NO	該当項目等	意見・提案等の内容	町の考え方	取扱区分
4	—	<p>本計画案には、「子育て未来支援金事業」や「空き家リフォーム促進事業」など、町民の生活を支える多数の事業が並んでいます。しかし、それらが「10年後の東北町に、具体的にどのような住民（移住者・子育て世代・地元企業等）を増やし、残したいのか」という明確な『未来の住民像（羅針盤）』から逆算されていないように見受けられ、施策が総花的となり、財源や人的資源が分散する懸念があります。</p> <p>全庁的な取組を進める上では、共通した判断基準を持ちながら重点化を図る必要があると思います。</p>	<p>本計画では、人口減少対策や地域活性化を重要課題として位置づけ、子育て世代をはじめ、多様な世代が安心して暮らし続けられるまちづくりを推進することとしております。</p> <p>施策の推進にあたっては、地域課題や住民ニーズを踏まえながら、各分野の取組を総合的に展開するとともに、限られた財源や人的資源を効果的に活用し、重点的かつ効率的な事業実施に努めてまいります。</p> <p>また、将来を見据えた地域づくりの方向性については、社会情勢や人口動向等を踏まえながら、継続的に検討してまいります。</p>	その他
5	—	<p>本計画案は、「産業の振興」、「交通施設の整備」、「生活環境の整備」など、行政側の「担当分野（課）」の論理で章立てされています。</p> <p>しかしながら、住民の実際の暮らしは区分けされていません。</p> <p>行政組織が縦割りで構成されていることにより、住民生活に関わる課題を横断的に整理・分析することが難しく、部署間の連携不足や重複事業による負担が生じる可能性があります。</p> <p>特に、「子育て」「移動手段」「住宅環境」など、住民生活は複数分野が密接に関わっているため、横断的な連携体制の強化が必要であると思います。</p>	<p>本計画の推進にあたっては、住民生活に関わる多様な課題に対応するため、関係部署間の連携及び情報共有を図りながら、横断的な視点による施策推進に努めてまいります。</p> <p>また、子育て支援、交通、住環境整備など、相互に関連する施策については、関係機関や庁内関係課との調整を行いながら、効果的かつ効率的な事業実施を進めてまいります。</p> <p>なお、組織の横断的な取組体制や庁内調整のあり方に関するご意見につきましては、今後の行政運営の参考意見として活用してまいります。</p>	その他

NO	該当項目等	意見・提案等の内容	町の考え方	取扱区分
6	—	<p>行政運営において、「連携に努める」といった抽象的・精神論的な表現だけでは実効性が乏しく、具体的な仕組みやルールづくりを通じて、各部署が実際に横断的に連携できる体制を構築する必要があります。</p>	<p>本計画の推進にあたっては、関係部署間の連携及び情報共有を図りながら、各施策を効果的かつ効率的に推進してまいります。</p> <p>また、地域課題に適切に対応するため、庁内における協議・調整機能の充実を図り、横断的な視点による事業推進に努めてまいります。</p> <p>なお、組織運営や庁内連携のあり方に関するご意見につきましては、今後の行政運営及び計画推進の参考意見として活用してまいります</p>	その他